**不審者侵入・危機管理マニュアル（例）**

令和○○年４月　○○立○○学校

*事故発見者*

**不審者（事故）**

【校内緊急放送】

※職員だけが解る注意喚起の言葉（予め決めておいた暗号）で放送する。

　（例）「○○の方がお見えです。校長先生、至急職員室へお戻りください。低学年昇降口です。」

※最後に不審者の位置を伝える。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　①近くの職員に連絡

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　②児童生徒の救護・保護

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　③避難指示

【１１０番通報】

「○○学校の○○です！刃物を持った男一人が教室に乱入し、児童数名が負傷しました。緊急出動願います。」

「住所は、○○市○○○で、電話番号は、○○－○○○○です。」

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　④不審者対応

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（現場に近い職員は、直ちに

現場に急行し、児童生徒の

安全を確保する）

校内対策本部設置

（校長室など）

校長･副校長･教頭

教務主任・生徒指導主事など

　（電話連絡は、手分けすること）

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（手分けすること）

教育委員会への第一報

○○○－○○○○

警察署（１１０番通報）

消防署（１１９番通報）

【教育委員会への第一報】

「○○学校の○○です！学校事故の第一報です。○時○分、刃物を持った男○人が、○年○組に乱入、○人の児童が負傷しました。」

「１１０番、１１９番通報し、現在、救助活動と不審者への対応をしています。今後の指示と応援をお願いします。」

【１１９番通報】

「救急です。○○学校の○○です！刃物を持った男に児童○名が刺され負傷し、大量に出血しています。至急、救急車を要請します。」

「住所は、○○市○○○で、電話番号は、○○－○○○○です。」

①緊急放送で児童生徒

へ避難指示

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　②全職員への行動指示

③校内対策本部に

情報伝達係を指名

全職員による対応

教育委員会担当課に指示を仰ぐ

近隣学校・教育事務所等へ応援要請

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 校長・副校長・教頭（　　　　　　） | 教務主任（　　　　　　） | 学年主任・担任等 | 生徒指導担当者等（　　　　　） | 養護教諭・保健主事等（　　　　　　） | 事務職員等 |
| ・陣頭指揮・職員への連絡調整・被害児童生徒の家庭連絡･家庭訪問等・外部機関との連携・報道関係への対応等 | ・関係保護者への連絡・ＰＴＡ役員への連絡・全保護者への連絡等 | ・避難誘導・安全確認・安全指導・保護者への引き渡し・被害児童生徒の家庭訪問等・救急車同乗 | ・現場直行・不審者への対応等 | ・応急手当・医療機関との連絡調整・場合によっては、救急車同乗 | ・電話対応・各種連絡等 |

※担当学級の児童生徒の安全確保（被害防止・避難指示）を的確に行うこと。